

unicef 
for every child

ユニセフ年次報告 2019



表紙：© UNICEF/UN0327674/Ralaivita

出典について：本報告書のデータは、ユニセフ（国連児童基金）、各国連機関、ユニセフの各国事務所が提出している年次報告書、ならびに2020年6月に行われた執行理事会に提出されたユニセフ事務局長年次報告書のデータに基づくものです。

印刷後の誤りや訂正は、<www.unicef.org/publications> でお知らせいたします。

ISBN: 978-92-806-5135-5

© United Nations Children's Fund (UNICEF), June 2020

すべての子どもにふさわしい世界を 今こそ再創造しよう

ユニセフ年次報告 2019

コートジボワール北西部、オディエンネの保健センターで赤ちゃんと遊ぶユニセフのスタッフ。

© UNICEF/UNI303268/DEJONGH



ベネズエラのポリバル州、カンバラージェにて行われた「ベネズエラの子どもたちと一緒に」(#ConLosNiñosDeVenezuela)の啓発イベントで、子どもたちとその家族を支援するユニセフのスタッフ。

© UNICEF/UN0334533/Montico



目次

事務局長からのメッセージ	4
はじめに	6



目標分野

目標分野 1：すべての子どもが命を守られ健全に発育すること	14
目標分野 2：すべての子どもが学ぶ機会を得ること	20
目標分野 3：すべての子どもが暴力や搾取から守られること	24
目標分野 4：すべての子どもが安全で衛生的な環境で暮らすこと	28
目標分野 5：すべての子どもが人生において公平な機会を得ること	32



分野横断的な優先事項

人道支援活動	36
ジェンダーの平等	40



変革戦略

子どもや若者の問題への取り組みに対する支持を獲得する	44
パートナーシップ	46
イノベーション	50

財政管理	53
------	----

(公財) 日本ユニセフ協会の2019年度の活動	65
-------------------------	----

事務局長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行の最中、ユニセフ（国連児童基金）は年次報告 2019 を発表します。

COVID-19 の世界的流行は、目に見えない敵に対する世界全体での闘いの様相を呈しています。子どもや若者たちは、感染という直接の被害のみならず、間接的な影響を最も深刻に受ける存在です。この影響に対処しない限り、COVID-19 は、未来に消えることのない爪痕を残すことになるでしょう。

COVID-19 との闘いが浮き彫りにしたのは、ユニセフがこれまで継続的に行ってきた活動の重要性でした。すなわち、子どもたちや若者への直接の支援、そして、将来のために、保健、教育、子どもの保護、栄養、水と衛生の分野でより強固なシステムを地域に構築していくための支援です。

私たちが COVID-19 に立ち向かうために世界に呼びかけた行動指針の核心には、「最も社会的に不利な立場にある子どもたちを保護し、システムとサービスの強化に長期的に投資する」というユニセフの活動を凝縮した以下のテーマがあります。

- 子どもたちの健康および良好な栄養状態を守る
- 不利な状況にある子どもたちが水、衛生設備（トイレ）、衛生的な環境を利用できるようにする
- 子どもたちに継続的な教育の機会を提供する
- 家庭のニーズを満たし、自分の子どもたちをケアできるよう支援する
- 暴力、搾取および虐待から子どもたち、特に被害を多く受けている女の子を守る
- 移民・難民および紛争の影響下にある子どもたちを保護する

本年次報告で取り上げた成果の概要から明らかなように、190 を超える国と地域に及ぶユニセフの国際的な影響力に、スタッフの専門知識と経験が加わることで、私たちは危機に適切に対応することができています。

毎日、子どもたちの命を救う大切な仕事に当たっているスタッフたちの責任感と献身を心から誇りに思います。

たとえ子どもを巻き込んだとしても、世界は立ち止まることなく、容赦なく変化し続けていきます。私たちはそれに対応していかなければならないことをユニセフのスタッフはよく理解しています。

昨年私たちは、5 歳未満の子ども 3 億 700 万人に栄養不良を予防するための支援を、学校に通っていない子ども 1,700 万人に教育を、子どもと若者 400 万人に能力開発を、1,830 万人に安全な飲み水へのアクセスを、1,550 万人に基本的な衛生サービスをそれぞれ提供し、96 カ国 281 件の緊急事態において人道支援を行いました。

また、子どもや若者たち自身にユニセフの活動に協力してもらうための新しい方法も模索しています。やがて成長し、この世界を担っていく彼らと、その準備のために必要なプログラムやサービス、支援を一緒に設計し遂行していくには、彼ら自身の参加と声が不可欠だからです。

70 年以上にわたり、健康で幸福に生きることが難しい状況に置かれた子どもと若者たちを支援してきたユニセフ。貧困や差別から自然災害、武力紛争、飢餓、病気に至るまで、あらゆる困難に直面した子どもと若者たちにこれまで寄り添ってきました。たとえ誰であっても、どこに住んでいても。

これからも彼らに寄り添い続けられるよう、私たちは世界のパートナーに呼びかけます。

ユニセフの活動に参加してください。子どもたちの未来に投資してください。命に関わるかけがえのない仕事を支援してください。

より良く、より安全で、より健康で、より平和な世界を構築していきましょう。すべての子どもたちのために。



ヘンリエッタ・H・フォア
ユニセフ事務局長

2020年 ユニセフの新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応



1. コートジボワール北部のモロヴィヌ村で、COVID-19 から身を守るためマスクを着用する子どもたちと話をするユニセフのスタッフ。



2. ネパールのサブタリ郡にある、ユニセフの支援で設立されたガジェンドラ・ナラン・シン病院内の診療所で、患者の手当てをする保健員。

3. コートジボワールのモロヴィヌ村で、村長の家にあるテレビで授業を受ける子どもたち。国営テレビやラジオでの録画・録音した授業の放送も含め、ユニセフは遠隔教育プログラム「スクール・アット・ホーム」(School at home)に取り組んでいます。

4. グアテマラのグアテマラシティで、ユニセフは、240万人以上の就学前および小学生の子どもたちの親に食料品を提供する支援を行っており、子どもたちが COVID-19 以前に利用していた学校給食を受け取ることができるようになっています。

5. レバノンのバイルートにおいて、最前線で働く保健員と危険にさらされている人々に届けるための医療用物資を検品しているユニセフのスタッフ。物資には、手袋、医療用マスク、N95 マスク、ガウン、体温計などが含まれます。